令和３年度事業計画書

1.基本方針

当ＮＰＯは、６月までが年度期間で今日まできました。斯波最誠理事長が急逝されました後の２年は、コロナ禍の影響を強く受けつつ、活動の努力を行います。前理事長の意志を引き継いで、今まで通り支援の輪を進めてまいります。私たちは、会員獲得のためホームページの更新や、地道な広報活動の実施を強化していきます。少数精鋭のスタッフを更に、強化すべく人材の補充に努めていきます。そして、適時、理事会や会議には、ZOOM のリモートを行います。

2.事業活動の計画

１）具体的な事業 具体的な事業

①今年度は京都府並びに宇治市の就労支援課、学習支援課とのタイアップにより事業を強化します。

②京都府こどもの城づくり事業、「子どもの居場所（100 日型）」と「子ども食堂」の支援のタイアップの強化は、前年通りに行います。

③ひきこもり女子会の強化のため毎月開催を実施して、ZOOM を用いたハイブリッド女子会を敢行し、その女子会から非常に参考になる提言を得て、活動や講演会の実施に生かしていきます。

④DV 事業の見直しについては、京都府と利用者の連携が充分でない状況と、利用者の権利主張が強かったです。当 NPO 法人が、善良な市民の代表として、民間 DV シェルター制度にのっとって、全身全霊で正当な対応を致しましたが、残念ながら利用料不払いトラブルが発生しました。従って、理事各位から民間DV シェルター事業を縮小する意見が出され、令和４年度より、廃止することになりました。

2） 当事者利用の増員計画

①当ＮＰＯ会員、知人など独自のルートで当事者・家族に働きかけを行う。京都府健康福祉部の担当者、並びに、宇治市福祉の支援課との協力を得て、通所者の利用に重点を置いて、寄宿生の居住地（久御山東一口）の変更をします。（公財）京都創造基金への再申請をします。

②全国対象者へのＰＲは、ホームページの活用を効果的にするため、全面リニューアルします。

③近畿、京都府内のひきこもり・不登校事業団体と連携を強化しネットワークづくりをします。ひきこもり親の会（ＫＨＪ）との連携をします。
④大学生のボランティア希望者を、積極的に受け入れ活動を強化します。（8.9 月の夏休みと８名の学生を受け入れ中）
⑤日本の子供たちと外国籍などの子供たちの交流を模索して、実現化を計ります。

3） 会員募集の計画
①施設利用者は、会員になっていただくこと。新正会員・賛助会員（入会金：7,000 円、年会費：3,000 円/入会金：10,000 円、年会費：10,000 円）の増員をはかります。
②イベント活動は、コロナ禍の環境では制約がある中、当施設を活用する教室・サークルの開設をして、NPO の PR や利用者の楽しさつくり、癒しを行います。